

地産地消 の家づくりに取り組む 大工・工務店



有限会社 岩木建設



軒を支える柱は丈夫なクリ、幕板はスギ

DATA

F 様邸 (七戸町)

床面積…109.3㎡ (33.07坪)

竣工…2015年12月

使用青森県産材

青ヒバ、スギ、ケヤキ、クリ、サクラ etc.

お施主様の声 家造りへのこだわり

私たちは、天井が高く梁のある造りにこだわりを持っていました。

間取り等も自分たちで決め、要望も沢山取り入れてもらい、木をふんだんに使った家になり、満足しています。

自分達の要望に対して、更に良くなるように提案してくれました。例えば下屋の軒の長さは当初の予定では1365センチでしたが、社長の配慮で455センチ伸ばし、1820センチになりました。自家用車を降りて、そのまま下屋の軒下を通り玄関まで来られて快適です。雪かきもせず家に入れますし、雨風でもあまり濡れずに済みます。

室内の間取りは回廊をイメージした設計にし、リビングを通らなくても各部屋へ直接行けるようにしました。長年の夢だった自分の家が要望以

上のカタチで叶いました。

ここまで満足する家を建ててくれた岩木さんに依頼して本当に良かったと思います。早く家を建てて欲しかったのですが「ウチでは大工の人数も決まっており、年に何棟も建てられないので、少し先を目処に…」という話でしたが、何故か私たちよりも先に家を建てる予定だった方が延期する事になり、その空いた期間で建てる事が出来ました。不思議な縁を感じます。

なぜ岩木建設で家を建てることにしたのですか？

最初大手ハウスメーカーのモデルハウスを見学しに行きましたが、どこか納得のいくものではありませんでした。前々から気になっていた「いわ木の家」のモデルハウスを見て、まさにドンピシャでした。その後、他社のモデルハウスも見に行きましたが、「木の家」をうたっている建物もあからかけ離れている建物もあり物足りなさを感じました。



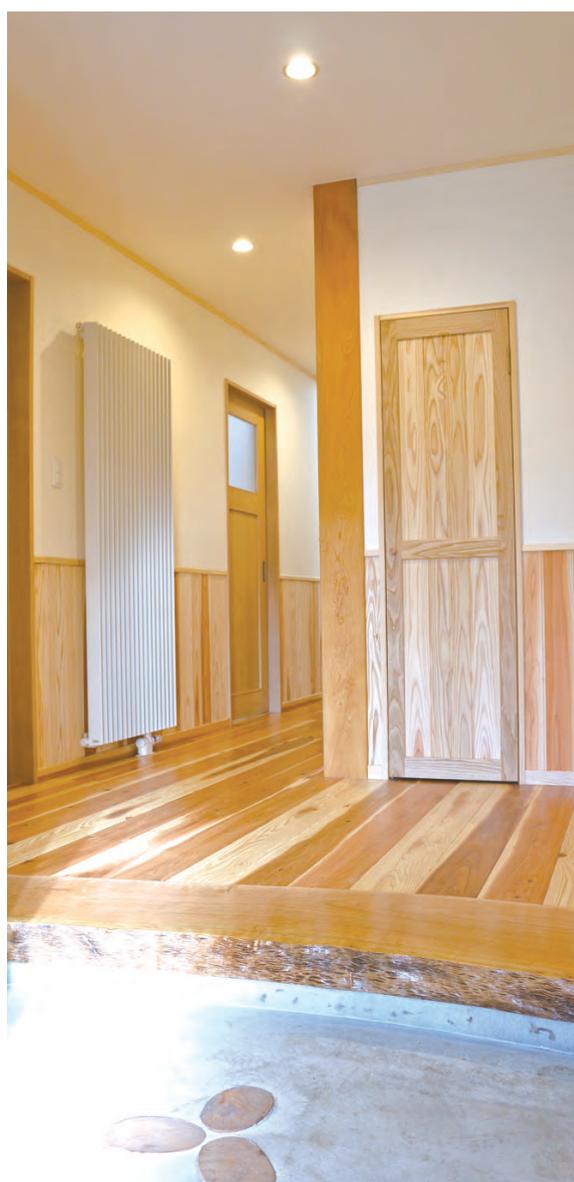
スギ、ケヤキ、エンジュ、ホオの木、セン、クリなどなど・・・木のドア

やはり岩木さんの建てている家が一番納得できたので依頼することにしました。

お施主様のお木(気)に入り

お施主様のコンセプトは「森」。

リビングや廊下の床は厚さが30mmもある柔らかく温かなスギの無垢材。リビングの大黒柱は7寸角のケヤキ、リビングから和室につらなる勾配天井に見える太い登り梁はスギ。天井、床のスギの色合いが自然ななめらかさでとても心地よい。室内や廊下の腰壁にはスギの羽目板を張り、建具の敷居は硬いクリ・ト、さまざまな種類の地元の木を使いましたが、中でもお気に入りには、リビングの「木のドア」です。天然の木の色あい、模様が美しく、スギ、ケヤキ、エンジュ、ホオの木、セン、クリなどなど・・・十数種類の木の板——一枚一枚が20cm角の大きさ——それらを



市松模様に張り付けたオリジナルの「木のドア」は、森に色々な木が生えているみたい、に、わが家にも様々な樹種がある、とご満悦です。

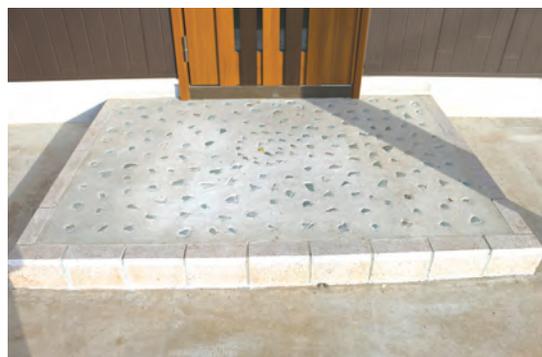
森をイメージして、和室の塗壁は緑色、物置に貼ったクロスは鳥の柄です。和室には、味わいあるひょうたんランプが柔らかな優しい光を放ち、床の間にそっと置いてあります。まるで、森の木漏れ日のようです。センスのよさが感

じられます。

お施主様は木が大好き

お施主様が当社の常設展示場を見学に来られたのは、一昨年(2014年)の五月でした。

実際に展示場の木の空間を体感したお施主様は、木の椅子の背もたれに寄りかかりながらモデルハウス内を眺めて「いいですね、いいですね



玄関ポーチにはシーグラスでアクセントを

柱は8寸角のケヤキ。津軽金山焼きのタイルをちりばめ、上がり框は曲がりのある樺桜がやさしい。



柱は7寸角のケヤキ、梁は8寸角のスギ。天井、腰壁、床の色合いが穏やかな雰囲気。大工職人の配慮が感じられる。

く。」とおっしゃっていました。建てるなら「いわ木の家」で決めたそうです。

お施主様は、これまでに発行された『青森県産材でエコな家づくり』の本を見ては、

弊社の建物の室内写真から伝

わってくる柔らかな木の色合い、頑丈そうな太い柱、太い梁を見ては木にますます惹かれていったそうです。本質的に「自然の木の家」に関心があつたのですね。

岩木建設の想い

全国区の大手ハウスメーカーは、よく「何年保証」とか、「家の保証」を、売り〴〵している傾向があります。弊社は、この地域に建てた家があ

るかぎり、何かあればすぐ対応するのが地元工務店としての使命であり、この地域に存続し、お客様の家守りをして安心して暮らして頂く事が、保証〴〵と考えています。

大工を現在少なくとも

いる本来の職人として、そして、どんなことでも相談できる家造りのプロとして育成し、木材、とりわけ地元青森県産材と、大工という仕事への愛情で喜ばれる家を造り続けています。

父親から受け継いだ岩木建設はかれこれ62年営ませて頂いております。私で2代目です。3代目、4代目……と継いでいけるよう、地元の木を育てるのと同じように、大工たちの育成をはかりながら、しっかりとした木の家を建てて、地元を根をはり、お客様との信頼を繋いでいきたいです。



神棚について話している施主様と岩木氏。
ケヤキのお宮に合わせて、神棚の飾りも同じ木材を利用した。



腰壁、床はスギ。



岩木建設の自慢の人。中堅の大工さんでいずれも入社して5～6年。技術力の高い将来有望な二人で、若手社員の憧れ。

いわ木の家

有限会社岩木建設

十和田市大字洞内字井戸頭175-1
TEL 0176-27-2906 FAX 0176-27-3259
E-mail iwaki@sea.plala.or.jp



株式会社 大山建工



DATA

内舟渡展示場 (八戸市)

床面積…147.62㎡ (44.65坪)

竣工…2015年7月

使用青森県産材

スギ (梁、柱、天井)、アカマツ (床)、
クリ (ウッドデッキ)、ヒバ (土台)

展示場レポート

最初に案内されたそこには、吹き抜けの広々としたリビングが待っていた。

窓が左右にあるため、室内は十二分に明るい。否、明るく感じるのは、光だけではない。ふんだんに使われている木材も重要な役割を果たしている。そのリビングで目を奪ったのは、思った以上に白く綺麗な床だ。

「フローリングは明るく綺麗な色をしている赤松を使用しました。赤松は非常にクセがあり、乾燥後でも収縮や歪曲してしまいます。それ故に今まではチップにする(等の)使い方しか出来ない木材でした。この三八地方は赤松が多く繁殖しており、有効活用したいと考え、木の特徴に合わせた加工を施し、フローリングに使用出来る建材にしました。この技術は当社で加工センターを持っているから実現出来た事です。」

こう語るのは展示場を案内してくれた大山専務である。一体どれほどの研究が重ねられてきたのだろうか。一体どれほどの努力があっただろうか。技術の粋を集めた、とはまさにこの事であると確信する。

主観だが、やはり日本家屋には和室があつてこそだと、案内された和室を見て実感した。上座から見える庭は、景観を重視しただけではなく、お客様をお通しした際に真価が発揮される。四方正目の柱は、静かに、しかし明確に存在感があり、これらを包括し洗練されたデザインは、『安らぎ』と『おもてなし』の両輪が揃っている。

リビングを抜け居住スペースを拝見した。ダイニングから見えるウッドデッキは、雨風に耐えうる程の腐り難さ、その堅さ故に虫にも食われ難いという特性を持つ栗の木を使っている。空の下で食事を楽しむ時も、洗濯物を干す際

も、作業場として活用する時も、重宝することはもはや必然である。

室内の壁はクロスその他、ケンコートを使っている。湿度調整や臭いを抑えるののもちらん、アレルギーで悩んでいる方に効果がある。間接照明と木の天井が相まって、疲れを癒すのに最適な寝室は、ベッドの上から季節を感じる庭を眺めるだけで、最高の寝室へと昇華する。

リビングから2階へ上ると



本社 大山加工センター



リビング

プライベートスペースとなる書斎や広めの部屋が用意されている。暖房もリビングに設置した薪ストーブの対流で十分である。夏は冷房を駆使せずとも、自然の風を取り込むだけで快適な室温になるのは想像に難くない。

2階で視界に入る天井には1本柱の梁がある。樹齢100年以上の木を使っているとの事。地震大国と呼ばれ

る日本で、築き上げられてきた建築の技術を目にするとはやはり安心感が違う。その技術を更に磨き上げ、無垢の木をそのまま（継ぎ足し等の加工せず）使用し、熟練した大工が施工することによって『100年の住宅』を目指している。

大山専務は語る。

「いい設計をしても、作る側がしっかりとっていないと、いいものは出来ません。例えばコストを抑える為に手を抜く事などは言語道断です。自社で大工さんを管理し、しっかりと仕事をし、キレイに納めるのが、私達の仕事です。」

規格に囚われない在来工法ならではの自由設計によって、御客様一人ひとりが希望する住宅を、地元の木を使い地元職人が創り上げていく。こうして完成するのが唯一無二の『オンラインワン住宅』である。その職人達の技が至る所に光る展示場は必見だ。

真心こめた住まいづくり



株式会社大山建工

本社 三戸郡五戸町大字切谷内字淋代14-1
TEL 0178-68-3353 FAX 0178-68-2454

本部 八戸市大字河原木字千刈田7-1
TEL 0178-21-3055 FAX 0178-21-3033
<http://ooyamano-ie.jp/>

青森営業所 青森市東大野1丁目8-3
TEL 017-762-3001 FAX 017-729-0488



有限会社 岡田工務店

DATA

松原 様邸 (三戸郡三戸町)

床面積…1F 63.76㎡ 2F 55.48㎡ (19.29坪)

竣工…2015年10月

使用青森県産材

ヒバ (土台)、杉 (内部造作材)



木造住宅にした理由

選択肢として鉄筋は最初から考えておらず、自由設計のしやすさ、木が持つ「やわらかさ」を求めて木造にしました。

工務店を選んだポイント

付き合いが長ければ長いほど
大きい仕事をお願いしやすい

岡田さんとは7年前に商工会で知り合いました。当時は家を建てられる状況ではありませんでしたが、仕事の話を聞いていくうちに「頼む時はこの人」と決めていました。そうして、いざ設計をお願いすると、私(ご主人)が気付けていないところも設計に反映して貰う事が出来ました。これは今までの付き合いがあったからこそやって貰えた事

ご主人の話

だと思えますし、普通のハウスメーカーだと出来なかったと思います。

1Fについて

間取りは、玄関入って……靴は……ジャケットは……リビング入って……など自分たちの動線をイメージして決めました。

薪ストーブはリビングに置いて、天井を吹き抜けにして煙突は2階まで延ばし、家中が暖まるようにしました。キッチンから全体を見渡せるように、ダイニングテーブルは特注し、家電に合わせた高さのカウンター、目線に合わせたのぞき窓等々、家内の要望に沿ったデザインにしました。

階段は家の中央において、朝は子ども達の起きてきた顔をみられるように、帰ってきた時はリビングを通って2階に上がるようにしました。階段から下が見えない造りになっているので、手摺りの壁を少なくする事で開放感を演出しています。

脱衣所の洗面台も特注し、カウンターや棚を付けて手の届く範囲にモノを置きやすいようにしました。より拘ったのはトイレを男女別にしたことです。やはり男子たるもの、立って用を足すべきだと思っています。

書斎は設計当初は1畳しか

なかったのを4.7畳まで拡大できました。立ち上がった時に目線の高さにある窓、野菜用の洗い場、裏玄関から直接出入りできるようにし、汚れてもいい場所としても活用できるようにしました。家内の要望でしたので、ここだけは叶えて貰いました(笑)

2Fについて
2階は薪ストーブの熱で暖かくなります。

子ども部屋は、壁紙を男の子と女の子で別々にして、中に仕切りを作らず広々使えるようにしています。成長に合わせて後から付けるつもりです。

多目的スペース(セカンドリビング)を作って、来客時でも寛げるスペースにしつつ、ベランダへの出入りも兼ねています。

寝室の奥にウォークインクローゼットを配置し、洋服屋をイメージした棚を特注しました。そうする事で服の出し入れがしやすいように工夫を



しています。
外観について

外壁にも木材を使用しています。当初は色を塗る予定でしたが、木の風合いが消えてしまうので、塗装を中止（様々進言があった）し、木材の良さを残しつつ、モダンな外観にしました。家といえは三角屋根というイメージですけれど、間取りを優先した結果、四角い家になりました。

完成した家を見た人から「家が似合う」とよく言われます。「あの人らしい家」とはよく聞きますが「家が似合う」とはなかなか聞きません。そういった意味で「個性」と「家」のバランスって難しいと思います。「個性」を出し過ぎると「家」から離れ、「家」にしすぎると没個性になってしまうと思います。岡田さんはこのバランスを見事に融合しカタチにしてくれました。

実はそんな外観を二の次、三の次にして、何パターンも



の間取りの設計を重ねました。ですので、図面の段階から相当愛着がありました。実際住み始めて数ヶ月ですが、既に何年も住んでいるような感覚があります。そしてなにより、家内の誕生日に合わせて引き渡しして貰えるように依頼しました。これらを含め、「私達のこだわり」を引き受けてくれた岡田さんに感謝しています。

奥様の話

一番のこだわりはキッチンです。ダイニングテーブルもカウンターも特注です。キッチンは私のオンステージなので。そしてキッチンから書斎の中が見えるように窓をつけてもらいました。中で何をしているかわかるように（笑）。そんな私ですが、誕生日に合わせて家を建ててくれた主人に本当に感謝しています。一生分のプレゼントを貰いましたから、もうプレゼントは

貰えないですね（笑）

代表の話

松原さんによく申したのは「妥協しないで欲しい」。こう申したのは長年の付き合いがあったからです。打合せをして、その度に設計図を変えて、また打合せして、と最後までこだわり抜いたから、まるで自分の家のように愛着があります。

7月着工で10月上旬までに必ず引き渡ししないとイケないというプレッシャーを抱えながら、工期を間に合わせる事が出来たのが工務店としても嬉しい事ですし、松原さん一家が楽しそうに暮らしているのを見ると個人的にも嬉しく思います。



OK 有限会社岡田工務店
夢ホーム

三戸郡三戸町大字川守田字東張渡48-1
TEL 0179-23-6727 FAX 0179-23-6728
<http://www14.plala.or.jp/bigmake/>
E-mail okada.office@orchid.plala.or.jp



有限会社
岡田工務店



DATA

大羽澤 様邸 (三戸郡三戸町)

竣工 2015年12月
使用青森県産材
杉 (内部造作材)

木造住宅にした理由

最初から木造と決めていました。木の味わい、におい、ぬくもり、それは家族全員の好みでもあり、他の工法は考えませんでした。

工務店を選んだポイント

一つとして同じ家は無く、その人の生活スタイルに合った家を建ててくれる工務店を探していました。

偶然にも私達の友人と知り合いで、岡田さんの親戚とも交流があり、世間の狭さを感じつつ、何よりも岡田さんの建てた家を見て「かっこいいな」と思ったのが一番の決め手です。

設計時の要望・こだわり

木の持つぬくもりを感じられる暖かい家にして欲しい。家族が車いすを必要とするので、玄関にスロープを作って

貰いました。

以前住んでいた家に廊下がありませんでしたが、必要無いと思っただけでなく、その分リビングを広く造ってもらいました。

使いやすい動線を考え、キッチン、その他の水回りの配置をまとめて、利便性を向上させました。

ご主人の話

岡田さんは設計から一緒に悩んでくれて、親身になってくれました。

風通しを考慮して窓を配置し、前の家では夏の夜、窓を開けるだけで十分涼しい風が入ってきたので、その事も設計に取り入れてもらいました。夏の夜風にあたるのが今から楽しみです。リビングの窓は座ったら庭を見渡せる絶妙の高さにしてもらいました。これは両親が大変気に入って

います。

実は建てている最中に納得のいかないところがでてきました。岡田さんに相談したところ「いいですよ」と即答していただき「一生に一度の買い物なので大丈夫です」とまで言って下さり、最後には納得のいくカタチにしてくれました。このように、その都度



相談し、応えて貰ったので大変助かりました。

上棟式では餅撒きを行いました。近隣の方、親戚に祝ってもらい、その方々の笑顔は最高でした。岡田さんと一緒に夕日を背景に餅撒きしたのは一生の思い出となりました。一つとして同じ家が無いのも岡田さんが親切丁寧に私達の要望を叶えてくれたからに違いありません。岡田さんに依頼してよかったですと思っています。

住み始めてまだ数週間ですが、朝寒く感じる事が無くなりました。以前は強風で窓がガタガタしたり、朝はとてもしんどかったです。今は冷え込む朝でも室内は12度くらいありますので快適です。冷え込まないのも静かなのも断熱効果のおかげだと思います。

家が完成して両親の喜ぶ姿が見られて本当に嬉しいです。安心して貰えたと思います。



奥様の話

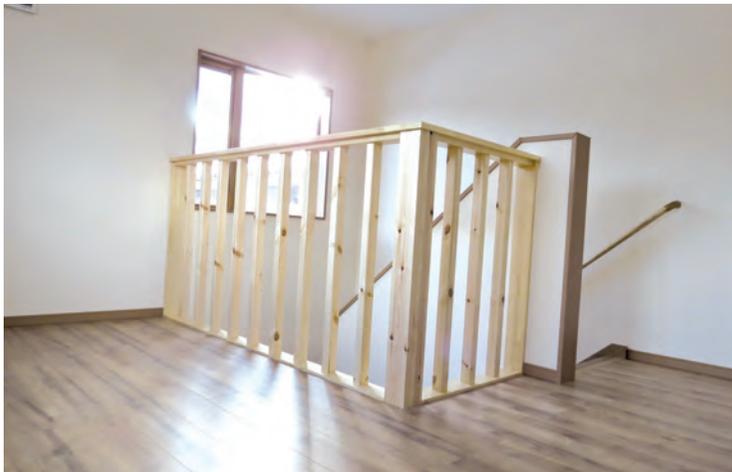
キッチンから水回りがつながっていて、使いやすい、動線を重視しました。

木の持つ「和」の雰囲気がとても好きで、落ち着ける暖かみがあります。

建てている時のヒノキの匂いがとてもよくて、安心してきます。

岡田社長は工事中、現場を見に行くときも忙しい中でもその都度詳しく工程を説明して下さり、素人の私達にもわかりやすく、安心してました。

また職人さんも親しみやすく、工事が終わって会えなくなつたの



が残念です(笑)。

気に入っている所ですが、キッチンのカウンターの下に収納スペースや棚を作ってもいい、希望した時よりも収納場所を増やせたのも助かりました。

岡田さんは私達の要望を上げる提案をしてくれます。施

主と工務店がお互いのこだわりと意見を言いあえるのは、信頼関係ができていなければ成り立ちません。

限られた工期の中で、私達の夢をすべて実現させてくれた岡田工務店の皆様には、感謝の気持ちで一杯です。



夢ホーム

有限会社岡田工務店

三戸郡三戸町大字川守田字東張渡48-1
TEL 0179-23-6727 FAX 0179-23-6728
<http://www14.plala.or.jp/bigmake/>
E-mail okada.office@orchid.plala.or.jp





企業組合 県木住

DATA

阿保 様邸 (弘前市)

床面積…119.24㎡ (36.00坪)

竣工…2015年2月

使用青森県産材

ひば (土台)、アカマツ (梁)、スギ (柱、床、建具など)



木造住宅にした理由

当初はそもそも家に興味が無く、全く建てる気がありませんでした。当時はアパート住まいで子どもが産まれても、まだ必要無いと思っていました。ある時、妻の勧めで県木住さんの見学会に参加したところ、子どもが本当に楽しそうに遊び回っていたので、家を建ててもいいな、と考え始めました。

大手ハウスメーカーのモデルハウスも見学しましたが、子どもの反応が全然違っていました。純粹に喜ぶ空間は、本当に気持ちのいいものはず、と思い木の家にしました。

工務店を選んだポイント

車ではよくラジオを聴くのですが、何かの番組で県木住さんの紹介をしていて頭の片隅にありました。見学会に行き、家の外も木がふんだんに使われていて、見た目、

入った時の木の香り、触り心地、薪ストーブの暖かさなど、とにかく「すごくいいなあ」と実感しました。

設計時の要望・こだわり

基本的には「シンプルなお木の家」を希望しました。親戚や友人なども考えて、子どもも大人も伸び伸び出来るゆったりとした空間にしたいと思いました。

それと、リビングの中心に収まった薪ストーブは最初から希望していました。実家の敷地内で、薪を置く場所も困りませんし、建てるなら薪ストーブしかない、と。それと、家の

形にしても材料にしても、流行にとらわれず長い目で見て飽きの来ないものを希望しました。





ご主人の話

子どもが元気に遊びまわっているのを見ると家を建ててよかったと思います。薪割り、薪運びを週1回の仕事としてやっていますが、子どもも手伝ってくれますので、楽しみながらやっています。ウッドデッキを作る予定はありませんでしたが、冬の薪運搬時があると便利という事で、山崎さん（担当者）の配慮で設計に加えました。暖房は薪ストーブ1台で十分暖まりますし、冬場の朝でもほんのり暖かくエアコンが無くても、とても快適です。

私は小説を読むのが好きなので、書斎には壁面いっぱいの本棚を希望しました。寝室は特にこだわりもなく、床に布団を敷いて寝るだけの部屋にしています。子ども部屋の仕切りは、今は取付けず成長に合わせて付けるかどうか決めるつもりです。

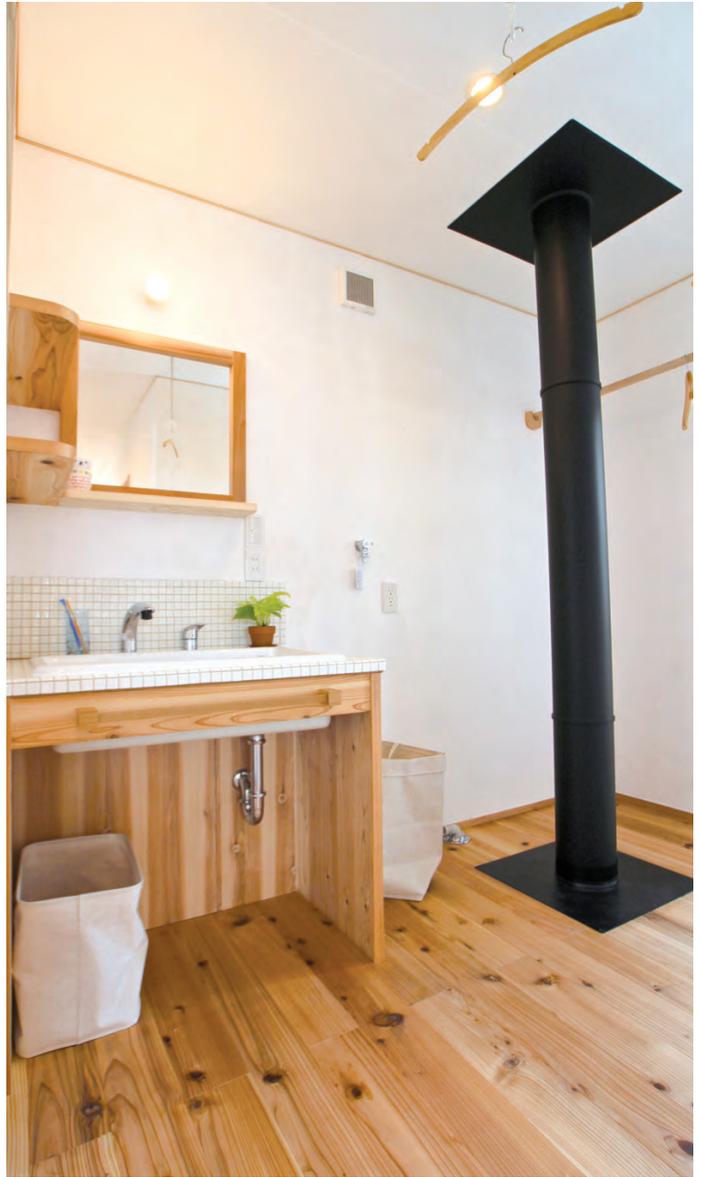
家を建てるにあたって、

様々な作業にも参加させて貰い、壁の漆喰塗りやオイル塗りをした事はいい思い出です。また建てている最中も、細かな変更を聞いて貰えましたのは嬉しかったです。

照明選びには時間をかけました。シーリングライトの明かりが好みじゃないので裸電球型のLEDを採用しました。照明のケーブルも市販品では天井の色とマッチしないものがほとんどでしたので、自分で全て黒く塗りました。その他、ゴミ箱や洗濯籠も自作しました。

住み始めて約1年が経ちますが、とても満足しています。





奥様の話

設計時に主人の書斎はいらないと言いましたが、狭いながらも書斎スペースが確保出来て本人は満足みたいです。そんな主人は休日に子どもと一緒に薪運びをしてくれますし、夏場は出勤前に朝早くから薪割の音が響いてきて、私

は「大変だなー」と見ていますが、主人はそうでもないようです。時折、焼き芋やピザを作って薪ストーブを暖房以外にも活用しています。

水回りを2階に配置したので、洗濯がすごく楽になりました。夏はペランダに干せませんし、冬は煙突の暖気があるので、年中快適です。朝洗濯

物を干すと昼過ぎには乾いているので、とても助かりますね。

朝起きると子どもがスギの床で寝ています。特に夏場は床で寝るのが好きらしく、布団そっちのけで床で寝ているのを見かけます(笑)

以前住んでいたアパートは、結露やカビが発生してしま



たが、今は全くありません。設計こそシンプルですが、後は自分達でいろいろ出来るのでこれからが楽しみです。

担当者の話

阿保様邸を設計するにあたり、幹線道路やご実家の敷地内である立地条件、お子様の



年齢や普段の生活スタイルなどの要素を考慮の上、設計しました。

2階に水回りを配置した場合、着替え↓洗濯↓物干↓衣類の収納といった家事動線が少なくなる事、1階の空間が広く取りやすくなる事などのメリットから阿保様邸では採用となりました。

阿保様ご家族にも参加して頂きましたが、私共はお施主様にも積極的に家作りに参加して頂きたいと考えております。これは、家が出るまでを知ってほしい事、住んでからのメンテナンスも楽しんでほしい事、愛着を持って住んでほしいなどの願いが込められています。



企業組合 県木住

青森市松原1丁目16-25 (青森県森林組合会館内2F・3F)
 TEL 017-732-5333 FAX 017-732-5777
<http://www.kenmokuju.com>
 E-mail info@kenmokuju.com



建築組パックス 有限会社



DATA

木村 様邸 (八戸市)

床面積…95.238㎡ (28.86坪)

竣工…2015年3月

使用青森県産材

杉(柱、梁、床、天井)、けやき(大黒柱)、栗(土台)

木造住宅にした理由

借家に住んでいた時、臭いや結露、カビの発生に悩まされてきました。朝から結露拭きに追われたり、帰宅すると玄関を開けた時の臭いが気になったり、畳にも壁紙にもカビが発生しました。またそれが原因で子ども達もアレルギー性鼻炎を発症しました。そうした中で「自分たちの住む家に関係しているのではないか」と思い始めた矢先、当時の大家さんが「これくらいの値段で建てられる」と教えてくれました。こういった借家に家賃を払い続けるくらいなら自分達が住む家は自分達で建てよう、と考え下調べを開始しました。出産前はおしゃれな家やかわいいデザイン、壁紙に憧れていましたが、出産してからは価値観が変わり、家族の健康を配慮した自由設計がしやすい木造住宅が自分たちに適していると判断しました。

工務店を選んだポイント

木造住宅を建てられる工務店を探していた時、住宅雑誌に載っていた工務店に依頼してみましたが、県外の業者の為、断られてしまいました。しかしその工務店から「その土地での考え方や、雪の降る地方と降らない地方では工法や対策が違ってくるから、地元工務店で探した方がいい」とのアドバイスを受け、八戸市で木造住宅を建てている大西さん(建築組パックス代表)に依頼することに決めました。

設計時の要望・こだわり

主人や子どもが本をよく読むので、本棚を特注、下駄箱は、前の借家の時にカビが発





生したので、通気性を重視した扉無しのタイプにして貰いました。壁は家の湿度を調節してくれる漆喰の壁をほぼ全面に使用、これで年間通して快適な家になると思います。主人は「めんどくさい」と言っていました。薪ストーブは絶対欲しかったですね。眠くなるほどの暖かさがとても心地いいです。子ども部屋の仕切りは開放感を重視したかったので付けませんでした。さらにロフトも作って家が広く使えるようにしました。

奥様の話

朝、エアコンで部屋を暖めても子ども達が「薪ストーブつけて欲しい」とせがむ姿をみられるのが嬉しいです。

階段の壁には学校等の案内文、カレンダーなどを貼るためのコルクボードを特注で付けました。

実家のリフォーム時期とも重なり、今後の事も考えて新



しく土地を買うよりも実家を新築した方がいいと判断しました。

脱衣所の窓は道路に面しないように配置し、引き戸には透過性の低いガラスを使用、子ども達が成長して一人で入浴するようになって目立たないように配慮して頂きました。

主人は「家いらない」と言っており、特に要望はありませんでしたので、浴槽の色を選んで貰いました(笑)

代表の話

今回は漆喰の壁を生かす為に柱を隠さない工法を採用しました。また節が無い木を柱に使用し、見た目もキレイに見えるようにしています。

私は自然乾燥した木材のみを使用しています。乾燥機に入れた木は「死んでしまう」ので乾燥機には入れません。そして暖房も薪ストーブを家の中心に設置して、天井を吹

き抜けにし、煙突を2階まで延ばす事で、家全体を薪ストーブ1台で暖める事を可能にしました。その上で断熱材を外壁に使う事で、漆喰の壁を最大限生かす事ができます。

スペースが限られている為、開き戸を極力減らし引き戸にする事で可能な限り広く使えるようにし、また吊り下げ型にする事によって下のレールを不要にしました。

私はお客様の細かい要望に応える為にプレカット(予めカットしてある木材)はほとんど使わず、木材は手刻みしています。こういった配慮や技術で、20〜30年経っても修繕がほとんど必要ない家づくりをしております。



PACS
Perfect Architecture Consulting System

建築組パックス株式会社

八戸市大字新井田字石動木平1-1
TEL 0178-25-6020 FAX 0178-25-5542
<http://kenchikugumi.jp/>
E-mail pacs@sage.ocn.ne.jp



有限会社 佐々木建匠



DATA

T 様邸 (十和田市)

床面積…137㎡ (41.44坪)
竣工…2015年3月
使用青森県産材
青森ヒバ (土台、建具)、カラマツ(床)、
スギ (柱、梁、桁、母屋、建具)

稲生川の辺に佇む家屋は四季折々の景観と共に楽しむ事ができるようだ。黒を基調とした外壁は武家屋敷を彷彿とさせてくれる。外壁と相反する明るさを演出するのは、木の温もりと日光を吸い込むかのような掃き出しの窓。季節の移り変わりを知らせてくれるのは、家の中の暖かみまでも伝える狼煙であろうか。

〈特別インタビュ〉

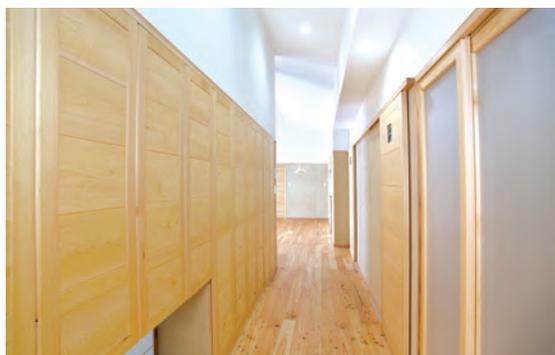
コンテストに応募した住宅は、以前からお付き合いのある方からの依頼でした。設計・デザインは、お客様自身が設計屋さんに依頼されたようです。お客様と設計屋さんが一緒に来社されたのがスタートでした。

見た目には、あまり木が目

立たないデザインなので、床や壁に県産材を使いました。その他の建具は、建具屋さんに依頼し、壁には珪藻土を塗り、天井はペンキ仕上げで、色は明るくしたいという設計屋さんの指示で白を採用しました。

お客様は薪ストーブを眺めながら、ゆっくり老後を過ごしたい、とお話していました。断熱性が優れている為、暖房は薪ストーブ1台で足りそうですし、薪もゆっくり燃すだけで十分暖まるので、意外と低コストです。薪の準備は一仕事ですが、心まで暖まるのが魅力ではないでしょうか。

今回の設計では、薪ストーブがリビングの中心にあります。通常、薪ストーブの周りには不燃材を使いますが、堂々と鎮座するが如く構えています。驚く事に薪ストーブの後ろは障子になっており、開けるとのどかな風景が見えるようになっていきます。これには凄いいこだわりを感じます。



我々だとこの設計はなかなか思いつきません。斬新です。洗練された外観は非常に魅力的で、建てている途中でも通行人から「新しい店でもできるんですか？」とも聞かれた事があります。完成した家を見て「すごい家ができた」と驚きました。

世間には様々なデザインの家や都会的な家があります。そういった住宅ですと、なかなか木に触れられないと思い



ます。私どもは、もっと木に触れる場所があってもいいのでは、と思いつながら木の家づくりをしています。

実は、コンテストにはお客様から勧められ、応募させて頂きました。今回、最優秀賞を受賞できたのは、依頼してくれたお客様、斬新かつ洗練されたデザインを提案してくださった設計者様、その他建築に携わった関係者皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

〜次代を考える〜

最近のお客様は木を使って欲しいという方が増えてきたような気がします。

スタイリッシュなデザインが流行っていますが、長年住んでも飽きないデザインである事も必要だと思います。

私どもは、プレカットはほとんど使った事ありません。大工さんが自分達の手で加工

して、家を建てるという事を崩さないようにしています。そうしないと職人の技術が保てないのです。そういう所も考えながら、家づくりに取り組んでいます。時代に逆行しているかもしれませんが、組み立て図の通りやれば建てられる家が増えてきている現状に甘んじるワケにはいきません。職人の手が入るからこそ、「職人の仕事」と呼べるのではないのでしょうか。

プレカットは経済的負担も少なく、効率的というメリットもありますが、職人は育ちません。県産材を使って家を建てましょう、と言っても、建てられる人が居なくなってしまうのです。職人の育成こそ、次代に必要な事だと思っています。日本には何百年と建ち続けている建物が存在し、厳然とその技術が在った証拠でもあるのです。

話は変わりますが、大手ハウスメーカーが東京で開発した建材が青森では適応しな

った話を聞いた事があります。極端な話、九州地方と青森だと工法や家に対する考え方が違ってきます。その意味においても、地元の環境で育った木が、地元の家づくりに適しているというのは道理ではないでしょうか。その上で、地元の職人さんが長年の経験を生かして建てる家が、どれほど理に適ったものなのか、私どもも情報を発信していきませんが、お客様もこういった事に触れて、より理解を深めて欲しいと思っています。

声　　く代表は語るく

『木は日本の文化である』
これに尽きるのでないでしょうか。

木造住宅は工務店の基本です。その基本を疎かにしてはいけません。何事もそうだと思います。

当社ではプレカットを使わないぶん、工期は普通よりも1〜2ヶ月長くかかります。





だからといって様々な面で無理すると「いいもの」ができません。そうやって30年間作り続けてきたからこそ、新築を建てた方から「家族が増えたからリフォームしたい」「増築を考えている」など、今でもお付き合いがあります。ありがたい事に20年前に新築したお客様から別のお客様を紹介して頂いた事もあります。これも、一貫して「いいもの」を提供してきた結果だと思っています。

社名に「匠」の文字を入れていますが、今後も「匠」に相応しい「いいもの」を提供していきたいと思っています。



匠の心を大切に

有限会社 佐々木建匠

十和田市大字三本木字並木西432-11
 TEL 0176-25-7878 FAX 0176-25-1098
 Mail saaskikensyou@tkcnet.ne.jp
 HP <http://www.sasakikensyou.com>



大工舎



DATA

佐々木 様邸 (八戸市)

床面積…1階71.1㎡ (21.5坪) 2階46.3㎡ (14坪)
竣工…2015年9月
使用青森県産材
ヒバ (大黒柱)、杉 (柱、桁、母屋、内壁、外壁その他)、
赤松 (梁)、唐松 (大引)、樺 (土台)、栗 (ウッドデッキ)

木造住宅にした理由

家を建てるなら、地元の木を使いたいという憧れがありましたし、また家族の健康や今後のことを考えて木造住宅にしました。

工務店を選んだポイント

5〜6年前のフリーペーパーで大工舎さんを知りました。当時は家を建てる予定はありませんでしたが、それに載っていたプロフィールを見て「この人だったら信頼できそう」と思っていました。急遽、家を建てる事になったので、大工舎さんに相談しに行ったのがきっかけです。

設計と施工は別々の会社が多いのが一般的だと思いますが、大工舎さんは自ら設計も施工もやるので安心出来ると思いました。

奥様の話

何よりもまずバリアフリーにする事が第一でした。キッチンには動線と掃除のしやすさを優先し、L字型に配置しました。玄関の近くにキッチンを置くのは様々葛藤がありました。日光を入れたかったのですが、南東に配置しました。階段は掃除の事を考えると、下が見える階段や吹き抜けは厳しいと思っています。

以前住んでいた家は自然の風が抜けづらかったので、窓を四方に取り付けて貰い、天気がいい日には窓を開けるだけで風を感じられるようになりました。

夏はこれから経験するのですが、エアコンは体が辛くなってくるので使いたくありません。エアコンは無いことに越した事はないと思いますし、漆喰が湿度を調整してくれるので、夏でも快適に過ごせるのではないかと期待できます。今は冬ですが、漆喰のおかげ



リビングの一部の6畳スペース。天井板も無垢の杉板

か肌があまり乾燥せず嬉しい限りです。

リビングにお仏壇がありますが、平戸さんにお仏壇の前だけでも畳にしたい、とお話したところリビングの一部に6畳のスペースを作った下さり、壁はスサを入れた漆喰で和風な雰囲気を出して下さり、とても素敵なりビングになりました。

代表の話

玄関とキッチンの配置で相当悩みましたが、佐々木様の要望もあり、太陽の光を少しでも多く入れるような間取りにしました。

車椅子でも出入り出来るようにするため、外をスロープにし、下屋を長めに出しました。しかし、そのままだと折角の南向きのリビングが暗くなるので、トップライトを二つ付け、なるべく明るくなるようにしました。

階段は最後まで悩みました。階段は平面図だと1坪使いますので、それをどこに配置するか。そのことはいつも悩みます。佐々木様の場合は、最終的に回り階段を採用した事によって、リビングの広さを損なう事なく、施工する事ができました。

階段を上った先の踊り場には、八戸市の花火大会が見られるように、手すりを利用したベンチを作り、さらに飲み



リビングからキッチンを見る。下り壁には建替前の自宅からはずしたランマを組込む。キッチンカウンターも造作。床は無垢材を使用したのでいい香りがします。

建替前の自宅から移した床板。建具材も階段材も全て無垢材。



物を置ける台も作りました。それはプランにはなく、私のアイデアに佐々木様にも賛成していただきました。その階段は、踏面を30cmにすることで安心して上り下りが出来る上に、角度が緩くなり、上り下りがしやすくなるように工夫しています。

南部赤松の丸太を梁に使い、大黒柱は2階まで通し柱にしています。丸太がアーチ型になっていると、上からの過重に耐えられるようになっていくのです。橋と同じ原理です。

当然ながらアーチ型にするとは一定ではなくなるので、それはそれで大変ですけど、それを上手く合わせるのが面白いですし、そこには充実感があります。まだこういう仕事の現場があるということを知りたいと思っています。

私は、プレカットは使いません。必ず職人の手で組むようにしています。

ウチでは刻みから造作まで

5ヶ月くらいかかります。普通は1ヶ月〜約2ヶ月なので、その倍くらい時間がかかりますが、その分仕事を覚えられます。もちろんそれだけではなく、職人さんに刻んで貰うということは、働ける時間が増え、雇用にも繋がります。

現場で覚えるのが本当の「大工の仕事」だと思っていますが、その仕事もプレカットを使つてばかりだといつか廃れてしまいます。否、廃れてきています。実際、建具屋さんも減ってきていますし、出来る人が少なくなっています。

残念な事に昔に比べて大工の地位が下がっています。しかし、本来、高度な技術を持つ大工はもつと活躍の場が必要で、活躍の場が出来るという大工も育っていきます。私はそういう職人を育てられるような仕事をしていきたいと思っています。

トイレの洗面台も杉の無垢材。



2階の小屋組。赤松の丸太が力強い。



構造模型を組む平戸憲行代表。



daikusya
大工舎

二級建築事務士事務所
知事登録第2677号

階上町大字道仏字泉田窪21-2
TEL 0178-87-3547 FAX 0178-87-3547

よって手に入るものが望ましいのです。特に間伐は、森や山が荒れるのを防ぐ重要な作業でもあります。

山が荒れるとどうなるでしょうか。水が浄化されず、汚れたままの水は川に流れ、海へと流れ込みます。そうすると海産物に悪影響が出るというのです。ある地域では漁師が山の整備を行っている所があります。これが現実です。

森林資源は、経済活性と環境保全の両立可能なエコなエネルギー源なのです。

ここであるデータを紹介します。木質ペレットにはどれほどの経済効果が見込めるのでしょうか。

年間1000tのペレットを製造すると、約5500万円（55円/kgとして）の新たな産業が起こります。そしてペレットに相当する灯油代金は海外に流出せず、その地域で循環します。さらには、製造にかかる雇用の促進にも繋がります。ある試算によれば、

人口1万人の町で、灯油で暖房をとるのに必要な雇用は9人、しかしバイオマスエネルギーで暖房をとるのに必要な人数は135人にも上るといいます。

石油やガスは否定するものではありませんが、少し考え方を变えて、青森県には資源もエネルギーもあるという事に目を向けて欲しいと思います。

「バイオマスエネルギーを知るーご存じの通り、この十余年でオール電化住宅が急速に増えてきました。私も建築を依頼された事があります。ところが、完成した後にストーブを付けたい、と希望される方がいてペレットストーブを取り付けた事があります。話を聞いてみると、「たしかに室温は25℃になっているが、寒く感じる」との事でした。やはり炎で暖めると『安心する暖かさ』になります。カロリー計算では、灯油が

70円/ℓだと、ペレットと同じ値段になります。しかし、ストーブからくる『暖かさ』さは、カロリーでは表せるものではありません。

さらに、物を燃やすと排出される二酸化炭素(CO₂)は、木を燃やした場合、CO₂排出量はプラスチック(※光合成による酸素の生成と比較)になると「京都議定書」で認められています。

実は、ペレットストーブは薪ストーブに比べ、安く短時間で取り付けできるのが特徴です。取り付け開始から点火まで半日程度です。私はペレットストーブを取り付けて頂いたお客様には安心して使っていたため、責任を持ってお客さまで、今では60件を超えて頂いています。私は県内一木質ペレットに詳しい工務店、県内一薪ストーブに詳しい工務店だと自負しています。今後は、ペレットボイラーを

普及させたいと考えております。ストーブは季節物ですが、ボイラーは365日使います。通年として仕事があると雇用が増えます。ペレットボイラーは値段が高くスペースが必要なので、都心向けではありません。だからこそ、郡部で経済を循環させる為に、バイオマスエネルギーが重要な役割を果たします。

未来の為に今できること、しなくてはならないこと

今では工場生産の建材を使い、1週間で家が建ちます。確かにプレカットの精度は素晴らしいものがあります。スピードを重視して手間が掛からなくて済みます。しかし、そこには大工の技術は無く、技術の継承がありません。10年後には大工はさらに減ってくると思います。リフォームに対応できる職人がいない状況になると、家は全て取り壊して新築しましょう、という

トだけではなく、デメリットもちゃんと理解して使って欲しいと思います。

我々はこれからカタチを作る仕事をしていますし、それに伴うコスト面についてはしっかりと説明しています。ご友人や親戚の方々などは様々なアドバイスをしてくれると思います。しかし、その方達はアドバイスするだけで、それにかかる費用は工面してくれないのが普通です。

お客様も家を建てるのは一生に一回、我々もお客様の家を建てるのは一生に一回です。お客様自身が心を開ける方と一緒に家づくりをするのが一番失敗しないスタート方法だと思います。過去には、考え方が合わずに離れてしまった人もいますが、追いかけてやりません。そういう駆け引きは苦手です。そうした中でも我々を選んでくれたお客様には安心して暮らして貰える家づくりを提案しています。今家を建ててから20年30年経つ

た時、お客様の相談に乗るのは私の息子達です。そういうお付き合いをさせて貰えるのは、私達が地元で根ざしている工務店だからだと思っています。

防蟻防蟻剤の話

木造住宅を悩ませる理由の一つはシロアリ対策ではないでしょうか。今、日本で主流の農薬系防蟻防蟻剤の保証期間は5年以内です。最長でも5年間しか保証されないのです。そこで今回ご紹介するのは、半永久的に持続する防蟻防蟻剤「エコボロンPRO」。主成分は、人間や動物には無害で知られるホウ酸を使用。木材に染みこんで揮発しないので、長期間持続します。またシロアリはホウ酸を分解する能力が無いため、食べると死に至ります。もっと詳しく知りたい方はコチラへアクセス！



クルクミン呈色反応試験



ほう素vs農薬



ほう素は安全



壁の再施工について



いえ 家づくり 幸づくり 夢づくり
しあわせ ゆめ

株式会社 ミヨシプラス

八戸事務所 八戸市石堂3丁目3-9 2F
TEL 0178-80-7357 FAX 0178-80-7318
mail info@miyoshiplus.jp



